

ポプラ祭、大成功に終わる！～ ウィズコロナに蓼高生ができること～

ポプラ祭実行委員会を中心とする生徒会、そして全校生徒がつくり上げた「第51回ポプラ祭」が、8月28日～9月1日まで実施されました。さて今回のポプラ祭は、一般公開なしで校内祭という新型コロナウイルス感染症拡大防止の制約の中、『自分たちにできることは何か』と委員会が中心となり、様々な企画が練り上げられました。その結果、例年になく素晴らしい企画と見事なまとまりで、祭りは大成功に終わりました。それでは、ウィズコロナの時代、生徒がつくりだした珠玉の企画を以下に紹介します。

蓼高平和宣言 ～コロナ禍で仲間を守り人権を大切にする、優しい社会の実現を！～

「自粛警察」という言葉がはやった通り、コロナ感染の恐怖と歪んだ正義感から、周りの人の行動を監視して、少しでも違うことをしたときは、匿名の張り紙やSNS上で陰湿な攻撃をする心無い事件が有名になりました。また、コロナ感染者やその関係者の家や職場に嫌がらせをする、悲しい事例も蓼高の近隣で起こりました。

このことに心を痛めた生徒会は、これらの出来事に対しどう考え、どうしなければならぬか全校アンケートを取りました。それを基に、仲間を守り差別のない平和な社会を実現するために、開祭式で平和宣言を行いました。



工夫を凝らしたステージ発表 ～ 密を避けるために、蓼高生がとった行動は～

開閉祭式やコンサート、演劇など、体育館ステージで行うイベントの観客対策を生徒会では考えました。全校生徒が出入りすると密になってしまいます。そこで考え出されたアイデアが、教室に設置したビューポイントによるステージの同時中継です。実際にやってみると、エアコンで涼しい教室で居ながらにして観られる快適さから、ビューポイントも人気で、体育館内の密も避けることができました。



密を避けた体育館



ビューポイントで盛り上がる生徒



笑顔の花を咲かせた後夜祭

キッチンカーの登場 ～ 調理販売ができなくても、地元の力を借りて大成功～

調理が厳しく制限されている現状で、それに準じる取り組みができないか？そこで考え出されたのが「キッチンカー」の案でした。町内にクレープの移動販売をしている業者さん(本校OB)にお願いし、生徒が事前打ち合わせをしてメニューを決定しました。当日はスーパーと同様、生徒が密にならないよう等間隔に並び、窓口で受け取るような流れで、スムーズに販売ができました。販売数は120枚。全校の半数の生徒が買ったことになるほどの盛況ぶりでした。業者のSさん、感謝です！

